

整理番号	23-5	事務事業名	(感染症予防対策事業) インフルエンザ		作成部署	保健福祉部健康管理課	電話	内線807
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	上村弘志	課長職名	細川和夫	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H13	根拠法令等	予防接種法					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	高齢者のインフルエンザによる重症化防止のため							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第1章)
	節	健康と医療	(第1節)
	施策	保健予防の推進	(第2施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	65歳以上の高齢者及び60歳以上65歳未満の者であって、身体障害者福祉法に基づく1種1級の心臓・腎臓・もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者	
	意図(何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者のインフルエンザの感染により、急性肺炎等の重症化防止を目的としています。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	高齢者(65歳以上)を対象に、11月～1月の3ヶ月間予防接種を市内指定医療機関で実施しました。
		17年度	同上

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	8,233	8,713	7,237	8,484
	合計	8,233	8,713	7,237	8,484
人件費(概算)	人数(年間)	0.05	0.05	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	450	450	450	450
総事業費 +		8,683	9,163	7,687	8,934

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	予防接種対象者数	9,633人	10,084人	10,530人	10,980人
	受診者数	3,820人	4,039人	3,320人	4,000人
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	受診率	39.66%	40.05%	31.53%	36.43%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	受診者1人当たり経費	2,273円/人	2,269円/人	2,315円/人	2,234円/人

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等

インフルエンザが流行する65歳以上の死亡率が高くなる傾向があり、平成13年度法律改正により、市町村での実施業務がさだめられ、全国的に取り組まれている。

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市の人口の高齢者が占める割合が増加し続けていく中で、健康保持のため、市が中心となり予防接種に取り組む必要がある。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	高齢者の健康保持のため予防接種は必要不可欠である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市内の医療機関において予防接種を委託しており、現行方式が適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	近隣市町村の個人負担料金の状況を考慮し、予防接種を実施しており現時点では適切である。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	予防接種対象者の約40%の方が受診しており、集団発生がなく、十分に効果が上がっている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	市内の医療機関、施設等において予防接種を委託しており、効率よく実施している。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	高齢者のインフルエンザ感染、重症化防止対策として、現状のまま継続する。
【2次評価】	判定	
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり